

しげくに 重国たけしの まちづくりニュース



しげくに たけし
日本共産党狛江市
環境まちづくり推
進室長
sigeny@nifty.com
090-1775-9052

「民報こまえ」
発行：日本共産党狛
江市委員会
岩戸北1-10-6甲武ビ
ル1階

残暑お見舞い、申し上げます

気候危機打開 待ったなし

暦の上では立秋(7日)を過ぎましたが、残暑(酷暑)はしばらく続きそうです。引き続き熱中症への対策をしてお過しください。

「気候地獄」回避へ
地球温暖化はいまや「気



候危機「地球沸騰化」と言われています。国連のグテーレス事務総長は、「気候地獄への高速道路を走っている」と指摘しています。気候危機打開の対策は、待ったなしの課題です。

若者気候訴訟

そうしたなか8月6日、「若者気候訴訟」が日本でも始まりました(写真)。「生命や健康などの権利侵害」「短期的な利益のために未来を破壊する」と、大手火力発電10社(合計で国内の約3割の二酸化炭素を排出)に対し、若者16人が実効性ある排出削減を求める訴訟(名古屋地裁)です。

「地球の健康」も守る

日本プライマリ・ケア連合学会(医師、看護師、薬剤師など約一万二千人)は、熱中症、感染症などへの影響を踏まえ、「人と地球の健康を守る」とする「気候非常事態宣言」を行ないました(6月9日)。各分野の動きも広がっています。

共産党が政策提言

共産党都議団は、2030年までの東京の温室効果ガス60%削減へ政策提言を行い、○化石燃料や原発との決別、○省エネ・再エネの本格的推進、○再開発を規制し公園や緑が覆う生物多様性あふれる東京へ、○「気候正義」の実現、などに取り組んでいます(都議団HPに掲載)。神宮外苑の再開発もこうした視点からの見直し求められています。

地球規模の視野持ち 足元から実践

気候危機打開には、世界および日本全体の取り組みが欠かせませんが、東京都として狛江市の取り組みもその重要な要素です。地球規模の視野をもち、足元からの実践を一步一步、前に進めるために力を尽くしたいと思います。

狛江のまちの緑を守り、増やす

狛江駅北口の樹木、植栽の伐採と撤去は、緑被率や樹冠被覆率を高めるといった視点がないまま進められました。市民から声が上がリ、議会で取り上げられるもとで一定の見直しもありましたが、いまや緑の保全、温室効果ガス排出削減は、まちづくり計画の最優先事項とされるべきものとなっています。



話題の気候変動SF

「未来省」

インドを大熱波が襲い2000万人の犠牲者が。国連に組織された「未来省」が科学・経済・政治、あらゆる手段を駆使し立ち向かう。キム・スタナー・ロビンソン著